

## 令和8年度予算特別委員会について

### 1 審査日程

令和8年2月12日（木）～令和8年3月17日（火）

教育委員会関係／令和8年2月20日（金）、3月10日（火）

総括質疑・採決／令和8年3月17日（火）

### 2 教育委員会関係の審査内容

別紙「主な質問・答弁」のとおり

## 令和8年度予算特別委員会【学校教育関係】 主な質問・答弁

### 教育総務課

#### (学校施設の整備について)

**原田分科員** ①施設整備の基準があるか。②平岩小、吉川小のプール改修について、今後どのように進めていくか。③老朽施設に対する安全性の確保について取り組んでほしい。

細本担当課長 ①長寿命化改良工事の他、児童数等の増加に伴う増築や突発的な改修もある。事業の調整も図りながら計画的、継続的に行っている。②民間施設の活用を視野に含め検討している。設計済のプールについては、修繕対応しながら検討している。

**貞岩分科員** ①長寿命化改良事業における地域コミュニティや災害時の避難所の役割、生涯学習機能の盛り込みなど、庁内での連携はどうか。②松賀中の増築は設計でR7～8予定だが工事を急がずR9～工事に対応できる見通しか。

細本担当課長 ①長寿命化改良工事は既存施設の延命が主であるが、余剰教室がある施設は地域連携部分を検討。②仮設教室で対応している。今のスケジュールで対応できる見通し。

**谷分科員** ①プールの民間施設の活用について、現時点での検討状況は。②プール授業、プール開放、酷暑対策なども含めて検討をお願いします。

細本担当課長 ①周辺の民間施設の有無など課題を整理している状況。

**岩崎分科員** ①今年の本谷小における試行での検証は。②課題は。③今後の課題でなく、本谷の試行での課題は。

細本担当課長 ①教員から負担減の声、児童から専門の指導で楽しかったという高評価。課題も踏まえて検討したい。②本谷以外の安芸津の2校は学校のものはまだ新しい、また、学校プールを廃止するといきいきが使えない、地域住民がプールを使えないことが課題。③ほぼなかったという認識。

**大下副主査** ①長寿命化に当たり、避難所等の複合化について新しく設計したもので検討事例は。②別の機能を本格的に持たせると長寿命化に該当しなくなる。長寿命化とは別の予算措置することは検討できるか。③地域から必要とされる施設や機能を入れてほしい。地域とのすり合わせを。

細本担当課長 ①原小において基本計画策定を予定しているが、現時点で具体的なものは無い。②現時点では具体的な検討は無い。

**谷分科員** ①小学校・中学校トイレの改修について環境の改善と生理用品の設置は連携しているか。②設置の進捗率は。③ある中学校で和式で整理用品もなかった。環境整備と併せて進めては。

細本担当課長 ①施設としての対応は洋便化、併せて暖房便座を設置しているものであり、生理用品は施設整備には含まれていない。

岡崎課長補佐 ②中学校で学校に予算を配当し、生理用品を置いている。②中学校は全ての学校に予算を配当し、必要に応じて購入してもらっている。③設置の仕方は実情に応じて個室や手洗い場に設置している。

#### (私立高校への補助金について)

**岩崎分科員** ①地域の活性化がどのように果たされるか。②統廃合の話がある河内高校について予算についての整合性は図られているのか。③賀茂北のみに補助をしぼった理由や議論はあったのか。④資格取得を魅力に感じて入学した子どもは何人いるのか。⑤どちらかという地域活性化の側面が大きい補助金と捉えている。活性化協議会との連携は予算措置する上で行ったのか。⑥1年生が40人になった理由の分析はしているか。

武上次長 ①1学年20人未満、全体で60人未満が統廃合の対象のため、補助をしていた。今年度の入学者が40人を超えていて危機的状況は脱したと思われる。県でも取り組みをしているため減額した。②1学年1学級の基準に河内高校は該当しない。活性化協議会をつくって策を講じるのはなく統廃合が急に出されたので案がでて地域から意見を聞いている状況であり、市長も要望に行かれるときいている。今後市でできることがあれば予算に組み込む。③豊田高校について。現時点では高校の頑張りで県の基準は満たしている。今後同じような状況になれば支援の検討の必要もある。資格取得を目的に入学した子もいるので、賀茂北高校の補助を急には打ち切らない方針。④何人かという

数字はないが、アンケートで回答された理由としては3番目。⑤市長部局としてできるものと教育委員会としてできる支援をそれぞれしていく。人口減少については市長部局にお願いしていくところという認識。⑥詳細な分析はないがアンケートをとっている。小規模希望の方もいらっしゃるの  
でそういった理由も混みで増加したと捉えている。

## 学 事 課

### (就学援助制度について)

谷分科員 ①就学援助について単価が引き上げられた。今年度と比較してどうか。②部活動への支援はできないのか、検討されているのか。③要件だけでなく項目の充実も考えてほしい。部活をする子にはちゃんと支援してほしい。子どもにアンケートとるなどしてほしい。

鷹橋課長 ①就学援助の割合について、R7の状況は小学校が数年間10%前後を推移。中学校は微減。②これまでも検討してきた。部活動費は生徒によってする、しないが異なり、大会参加費を含めない場合もある。一概には対応が難しいため他市町と同様に入れなかったこととしている。③就学援助の項目についてのアンケートは検討していないが、地域展開について保護者負担も踏まえて検討しなくてはいけないと思っている。

### (給食費の管理について)

貞岩分科員 公会計に係る諸経費に給食費決定通知書の送付が入っている。無償化になるが、送付する必要があるか。

鷹橋課長 シート作成時は無償化の国方針が決定していなかった。無償化分は差し引いて発送する。

岩崎分科員 ①滞納整理への取組は。②払わないといけないものは対応して払ってもらってほしい。

鷹橋課長 ①決算時の令和6年度未納分は251万9,211円。現在は28万1,576円で減ってはいるが来年度以降も引き続き努力したい。

貞岩分科員 休校になりそうなら前日に発注を止めて、必要なら持参してもらっていると思う。米飯のこの制度は無償化しても続けるのか。

鷹橋課長 食材の無駄について重要なこと。無償化しても継続の見込み。

### (通学支援について)

原田分科員 ①小中学生の通学支援、小学校通学支援スクールバス、スクールタクシー運用について前年度よりも下がった背景は何か。②少子化が進む中で、統合や廃校で通学距離が長くなることが想定される。平面の距離だけでなく基準の見直しの検討はされているか。③保護者の不安解消についても考慮に入れてほしい。

塚原課長補佐 ①令和7年度は3年分の契約をした。入札執行残で補正減額しており、来年度は入札後の契約金額になっている。

鷹橋課長 ②現在は基準として小学校は4キロ中、中学校6キロとしている。すぐに見直すことは考えていない。統廃合が進んでくるのであれば考えていかなければいけない。

### (教育費貸付金について)

谷分科員 ①元金収入が31万円とあるが、債権はいくら残っていて、何人分か。②私立の無償化の流れがある。給付でいいのでは。③11名の居住地は県内、県外どちらか。④無償化することは検討できるか。

鷹橋課長 ①現段階の未納分1月31日時点で690万円程度、延人数で11人。②貸付金は無償化にはなっておらず、職員が訪問したり、督促状を送ったり手法を凝らして少しずつ回収している。継続しなければならないと思っている。③個別の回答は控えさせてもらいたいが、連絡がとれない場合もある。④法務専門監とも相談し、債権者管理条例にのっとって回収をしていくことを考えたい。

## 指 導 課

### (学校司書について)

**貞岩分科員** ①47校に対し33人。あと3~4人で国の基準を満たすが増員方針か。②各校における効果として図書活動の数値があるか。③不読率の実際の数値は。④効果が上がっている。今後も続けていく方向か。

**西村課長** ①国基準が1.3校に1人で、年々1人ずつ計画的に増やしていく。②学校司書は子どもが手に取りやすい配置や本の案内をしておき、成果として不読率(1か月に本を全く読まない児童生徒の率)は県・国よりよい。③本市9.6、県14.4、国9.6 中学校本市11.7、県21.0、国24.2(それぞれ%)。④R12年度に基準達成する計画。小学校では1校に1人(小規模は2校に1人の可能性あり。)で計画している。

**谷分科員** ①司書を募集しても集まらない理由の検証は。②他の業種が魅力的だったり、正規雇用でないからでは。任用の形態は。③正規雇用が望ましいのでは。④そういった働き方もあるが、子育てを終えた方もいると思う。統計はとっているのか。

**西村課長** ①図書館司書の資格や教諭免許状が必要だが、資格がある方が他業務についている。②週20時間程度の非常勤講師。③会計年度任用職員であり、子育て中は非常勤講師が働きやすいという声もある。現時点では会計年度任用職員で検討している。④子育て中の方の人数について回答は控えるが、面接で事情等は把握している。

**岩崎分科員** ①人数に対しての不読率の成果として目標に対しての達成率は?増員だけでは難しいのでは。②取組だけではなく、根本的に本が少ないのでは。③小規模校は冊数が減少していくのか。

**西村課長** ①増員だけでは読書数はのびない。学校司書・学校図書館担当教員については、研修を通して、横の連携を深める中で、効果的な取組や組織的な取組を共有している。②各校の規模にもよるが、小中学校それぞれ9割程度の整備率で古いものは交換している。

**神笠教育監** ③本の冊数も大事だが、子どものニーズに応じた本を置くことも大事にしたい。

**市場教育長** ③小学校の蔵書率は94%。廃棄した段階で少し減り、だんだん増えていく。現段階で数値として大きく減ったとは考えていない。

### (個別最適な学びについて)

**中曾分科員** ①予算は学習ソフトウェア購入代金か。②それぞれに予算があるのか。③R6から始まっており、毎年上がっていくか。④国の補助はあるか。⑤全国の同じシステムを使っている小中学校について同様の現象が起きているか。⑥有用性はわかるのでやめた方がいいとは言わないが、なぜ金額が増加するのか追求してほしい。

**徳満参事** ①デジタルドリル、採点支援システム等のシステム保守、運用に係る費用か。②デジタルドリルや採点支援システム等それぞれに費用はかかるが、契約は一括。③予算の増は、個々の単価の増額に加えて使用料で措置されていたものを委託料に移動したため増額となった。次年度以後は業者との関係もある。④ない。⑤同様のものを利用するならば同様の現象になるという認識。

**貞岩分科員** ①学習eポータルはどんなものか。②採点システムは自動採点か。③教員の業務軽減がどのくらいデータはあるか。

**徳満参事** ①学習支援システムやデジタルドリル等を接続するシステム。②生徒の回答用紙をスキャンして読み込む。記号等であればデジタルが採点し、記述式は画面を見ながら教員が採点する。③採点業務が○時間減少したというような数値は把握していないが、デジタルが採点することや集計ミスがないことから集計時間短縮により、業務時間が減ったという声が特に大規模校である。

**谷分科員** デジタルドリルはどの教科で採用されているか。

**徳満参事** 国語、社会、算数、数学、理科、英語で採用している。

### (部活動指導員の配置について)

**原田分科員** ①3人の増員以外に単価の引き上げは増額に含まれるか。②指導員は本業があるのか、そういった人の割合は。③地域のスポーツ団体へのアプローチもされているのか。④補助の方もいると思うが

待遇は。⑤ボランティアがほとんどという認識。そういった方への配慮もしてほしい。教員業務削減効果は。

神笠教育監 ①単価が 1,517 円で 90 円増。②本業がある人も定年退職されている方もおり、割合は把握していない。③地域の関係諸団体と周知していくのが重要。今年度推進方針を策定中で、策定次第連携を図りたい。④補助の方は基本的にボランティアという認識。補助員がスクールサポーターの場合には報酬等があることもある。⑤顧問が専門でないこともあるため、導入により精神的な負担軽減になっている。部活動指導員に加えて先生も部活動を担っているため業務時間削減に大きく寄与しているとは言い難い。

岩崎分科員 ①R5～8 でなくなっているクラブもあるが要因は。②基本は教員がして不足分を補充している考えか。③異動により次の年度に別の場所に行ってもらいたいということか。

神笠教育監 ①顧問が入れ替わるため、専門性を見ながら学校のニーズ調査を踏まえて配置しているため年度により変わる。②基本的に教員に専門性があり、対応できる場合には優先度が下がる。安全確保が必要なものや先生に専門性がない場合優先度が高い。③そうしたことも考えられる。

貞岩分科員 ①コーディネーターの役割は。②人材を見つけることも仕事の 1 つという理解でよいか。

神笠教育監 ①団体との連携を担っている。学校に指導員を派遣する業務もある。②よい。

### (英会話アプリについて)

中曾分科員 ①英会話アプリのデメリットは何か。②メリットは。③活用してグローバルな人材になってほしい。

西村課長 ①メリットを強く感じているが、デメリットは生成 AI が予測していない会話だと止まってしまふ。オンラインの不安定さがある。②英語を話すハードルが下がることが 1 番。練習の機会になる。

貞岩分科員 ①2校はどのように選定するのか。②別のものを使用するのか。③予算としてどのくらいのランクのものか。

西村課長 ①黒瀬中について今年度夏から試行で半年の利用のため、引き続き選定。あと 1 校は別のアプリを使用するため、AI とアプリの兼ね合いを含めて検討中。②精度の差がある。金額が手ごろなアプリと、生成 AI が搭載された少し高いアプリを組み合わせる。③黒瀬中については今の生成 AI が搭載された 1 人当たり 7,000 円 (管理費含む。) のもので、もう 1 校は 1,300 円程度のもの。

原田分科員 ①今後は全市に発展させていくのか。②他の科目へはどうか。

西村課長 ①英語と生成 AI は親和性が高いため使っていきたいが、どのように活用するかは検討したい。②英語については話すことの課題があったこともあり導入した。他の科目への生成 AI の活用は現在ガイドラインを作成している。

### (コミュニティ・スクール応援事業について)

貞岩分科員 ①160 万円の予算 (20 万円×8 校) について 3 年まで継続可と聞いているが、次年度継続すると、8 校分の新規枠はないということか。②再来年度はさらに枠を増やす見通しか。③引き続きを要望しても、予算で優先順位づけや自走できる判断となれば単年度になることもあり得るということか。

西村課長 ①単年度で申請してもらおうが、来年度の継続も考えられる。②学校運営協議会の熟議を通して申請され、単年度ごとに審査する。③取組を広げていきたいため、単年度もあり得る想定で考えていきたい。

### (不登校支援について)

谷分科員 ①不登校支援で専門的支援を受けた割合はまだ目標の半分。周知はどうされているか。②不登校にさせない取組があれば。③フリースクールへの対応は。

今井参事 ①心のサポーター、スクールカウンセラーなどがあり、年 1 回また必要に応じて紹介する。②社会的な自立に向け個別の段階に応じた支援を行っている。③フリースクールにつながらないという課題に対しスクールソーシャルワーカーの活用を図る。

## (コミュニティ・スクールのシンポジウムについて)

- 岩崎分科員** ①予算が半端。どのような展開を考えているか。②この予算で来てもらえるのは奇特。どのあたりを目指すのか。検討したが最低限の予算なのか。③教育委員会が主体で入るイメージでよいか。④開催時期は再来年度を目指すなら後半、来年度からならある程度早くなる。どのタイミングですか。
- 西村課長 ①予算について、費用は謝金と旅費（講師分）のみ。コミュニティ・スクールを立ち上げて地域の学校関係者が目標を再確認する場としたい。
- 神笠教育監 ②学校や地域が実践の場をもつための機会。情報交換会などを活用して意見交換によって解決策を整理する場を持ちたい。学びの共有や、個別の伴走支援を連動させていきたい。③教育委員会としても支援をしっかりと行い、主体は学校運営協議会にはなる。年に1回は学校を訪問して各学校運営協議会の進捗状況を把握、助言し、生涯学習部の社会教育指導員が学校運営協議会での指導をしている。④あくまでも予定だが来年度の後半を今は想定している。

## (SSRについて)

- 貞岩分科員** ①スペシャルサポートルーム（以下「SSR」）は市で設置しているものは県の設置と同じことをしている理解でよいか。②不登校児童生徒数と利用者数がでているが、不登校児童生徒数499人のうち利用したのが156人という理解でよいか。③499人というのはほとんど完全に学校に来れていない状態ということか。
- 今井参事 ①担当者が県は教員、市は心のサポーターというのが大きな違い。②うち数ではない。③学校に来ている子や来られなくなっている子などいろいろである。

## 学校給食センター

### (給食費の無償化について)

- 岩崎分科員** ①給食が少量になっていると聞いた。給食が無償化されてやっつけられるのか。②入札で品数が減少している、献立を作るときに苦労されているという声も聞く。海外産の増加や、市の負担が増えることを危惧している。特に支障なくやっつけられる認識か。
- 直井次長 ①無償化ではあるが、保護者負担分を公費に置き換えるもの。食材や献立についてはこれまでどおりの水準を維持、向上させていく予定。質に影響するものではない。②物価高騰に伴って財源の確保に努めていく。地産地消についても産業部と連携して毎年向上している。栄養基準についても満たすように努めていく。
- 片岡部長 ②小学校の無償化は国の支援を受けて行う。国の支援額は物価高騰に伴って毎年度見直しを行う予定。来年度については市が不足分を賄っていくが、支援額について財源が十分になるように国にも働きかけを行う。
- 岩崎分科員** ③質が下がっていると聞く。現状維持が精一杯という理解か。
- 直井次長 ③お米は東広島市産で、野菜は流通センターで地産地消を目指している。質が下がらないように努めたい。
- 谷分科員** ①有機野菜導入の方針がどうなっているか。②志和に有機野菜を出荷されている方がいる。出荷する人の支援も募ってほしい。
- 片山次長 ①市内産の野菜は地場産野菜供給システムにより、産業部、JAと連携して計画的に調達している。有機農業の農家はシステムに参加していない。参加を働きかけていきたい。
- 岩崎分科員** ①給食が少量になっていると聞いた。給食が無償化されてやっつけられるのか。②入札で品数が減少している、献立を作るときに苦労されているという声も聞く。海外産の増加や、市の負担が増えることを危惧している。特に支障なくやっつけられる認識か。
- 直井次長 ①無償化ではあるが、保護者負担分を公費に置き換えるもの。食材や献立についてはこれまでどおりの水準を維持、向上させていく予定。質に影響するものではない。②物価高騰に伴って財源の確保に努めていく。地産地消についても産業部と連携して毎年向上している。栄養基準についても満たすように努めていく。

片岡部長 ②小学校の無償化は国の支援を受けて行う。国の支援額は物価高騰に伴って毎年度見直しを行う予定。来年度については市が不足分を賄っていくが、支援額について財源が十分になるように国にも働きかけを行う。

岩崎分科員 ③質が下がっていると聞く。現状維持が精一杯という理解か。

直井次長 ③お米は東広島市産で、野菜は流通センターで地産地消を目指している。質が下がらないように努めたい。

谷分科員 ①有機野菜導入の方針がどうなっているか。②志和に有機野菜を出荷されている方がいる。出荷する人の支援も募ってほしい。

片山次長 ①市内産の野菜は地場産野菜供給システムにより、産業部、JAと連携して計画的に調達している。有機農業の農家はシステム不参加。参加を働きかけていきたい。

### (給食センターの運営について)

原田分科員 ①東広島学校給食センターの設備更新の内訳は。②更新の時期であるのは理解するが配管の量に見合っているのか。新設するからか、建築工事が関係するからか、内訳がわかれば。

直井次長 ①蒸気配管の老朽化による工事は今年度から4年間行い、来年度は2年目に当たる。部品の交換、更新、ボイラー周辺の設備工事を行う。②4年かけて夏休みに1か月ごとの工事を4か月分行う。天井裏等の施工が難しい場所があるため高くなる。

岩崎分科員 4年間の事業費は全体でこの金額か。

直井次長 6,300万円は今年度の2期工事分。残り2年分は別途必要。

### <自由討議>

谷分科員 就学援助について、給食同様に奨学金の無償化で学びを保証することが求められると思う。

岩崎分科員 奨学金制度と給食の部分は分けるべき。奨学金は契約に基づいたものなので徴収をしていけばよい。給食の無償化について、危惧しているのは質が落ちている現状。タダならいいわけではない。

谷分科員 学校給食の無償化は全国で進んでいて、有機農業も広がっている。魅力になっていく事業ではないか。無料化によって農家に来するチャンスととらえることができる。

原田分科員 有機農業について手を挙げる生産者がいない。価格や生産量の課題を解決しないといけない。

貞岩分科員 給食は公会計化で入札になって新鮮である保証がない契約になっている。供給時の質が保証されていないところが課題。無償化しても契約は変わらない。味を追求するなら、公会計制度の中で工夫してもらうことを要望した方が良くと思う。

岩崎分科員 公会計化前よりも質は落ちている。有機農法については有機農業の定義を考える必要がある。給食に使えるほどの量があるかといえば現実的でないし、費用が余計に圧迫されるのではないか。今は給食自体の質向上が大切だと思う。

谷分科員 有機農業の収穫量は今小さいので保育所など小さいところに卸しているのが現状。大量調理の学校給食センター運営の中で一朝一夕では難しいが、資源を活用して子どもたちへの地産地消を保证する社会を考えてほしい。

谷分科員 学校司書について、子どもたちへの読書働きかけは大切。正規職員にして、1校に1人配置してほしい。

岩崎分科員 司書さんの雇用形態は別として人数が多ければ読んでもらえるのかという問題と人件費分の効果が今のレベルでよいのか、冊数目標に到達させるためにどのくらい努力をしてもらえるかにシフトしていくべきでは。量より質で、どんなイベントをするか、どんな手を打つかの方が重要。

岩崎分科員 賀茂北高校への補助は3年間という約束でスタートしたが、地域偏在をしない方がいいのでは。1学年1学級を基準に考えるならもう一方も考えてほしい。高校生が増えることで地域が活性化していく、地域に還元するかたちのものを考えてほしい。

貞岩分科員 AI英会話アプリについて先行している分と同等のものを入れてはどうか。黒瀬中に近いものを導

入してほしいという要望。

**原田分科員** 試行導入なので、使う目的が違いと認識した。今後を見て変化していくのでは。

**谷分科員** デジタル教科書、ドリルの導入について子どもたちにとってどんなことが効果的なのか。今後どうなるのか。眼への影響など導入してのデメリットも考えてほしい。

**原田分科員** 日常的にデジタルに触れるのは大切。毎年契約金額が上昇していることが懸念。競争性を担保しつつ選定してほしい。

## 令和8年度予算特別委員会【生涯学習部関係】 主な質問・答弁

### スポーツ振興課

#### (トップアスリートのスポーツ教室について)

原田分科員 ①トップアスリートのスポーツ教室は、人を集めて一カ所で開催するのか、それとも複数個所を巡る形で開催するのか？②地域活動でトップアスリートを招く場合に助成や支援があるか？③講師の斡旋や助成金はあるか？地域に活動を広げたいなら、助成金を検討してもらいたい。

大内課長 ①今年度実績で言えば、一カ所に集めて開催した例と各学校を巡った例とがあった。②助成金は無いが、相談があれば、後援や施設利用支援などは検討できる。③費用的な支援は難しいが、これまで課が培った人脈を通じて紹介することはできる。

#### (スポーツ推進計画の改定について)

岩崎分科員 ①計画の意義と内容は？②部活動の地域展開の視点は？③具体的な内容が記載されるのか？

大内課長 ①現行計画の期間満了に伴い策定するもので、スポーツを楽しむ機会の創出や活性化を目指すもの。今回は、スポーツによる幸福感向上、健康寿命延伸、賑い創出など様々な可能性を盛り込みたい。②当然盛り込みたいと考えている。③具体的な内容ではなく、概念などを包括的に盛り込みたい。

### 生涯学習課

#### (生涯学習フェスティバルの統合について)

貞岩分科員 これまで2日間開催していたものが1日になるが、規模を縮小することの意味は？

神笠次長 2日間で生じる間延びや拘束時間の負担を解消し、内容を1日に凝縮して開催するものである。

原田分科員 ①来場者 4,500 人の根拠は？②これまでの団体が参加できなくなるデメリットはないのか？③イベントに屋外出展があるなら、来年度は、今年のような2月開催は見直すべきではないか？

神笠次長 ①生涯フェスは2日で約6千人、健福まつりは1日約3千人が来場する。統合の相乗効果や参加者の重複を踏まえ1日3千人の1.5倍で推計した。②各種団体が参加を継続できるよう、ヒアリングをしっかりと行い丁寧に調整する。③来場者や参加団体の意見を踏まえて11月開催を予定している。

#### (まなぶちゃんノート、ジュニアパスポートについて)

谷分科員 ①まなぶちゃんノート、ジュニアパスポートの課題は？②配布段階で丁寧な説明が必要ではないか？

神笠次長 ①ジュニアパスポートについては、中学生になっての部活動の影響等で実績が伸びていないため、対策が必要である。②事前に先生方へ説明する機会を活用して丁寧に周知したい。

#### (創作村の管理運営について)

谷分科員 ①創作村の機能強化は？②子どもを対象とした活動は？③利用の周知は？

神笠次長 ①コロナ禍以降は、毎週末、陶芸活動に利用され、利用件数が伸びている。更に活用を促進する。②親子で参加できる竹細工教室や陶芸教室を開催した。③広報紙や市HPを活用して周知する。

#### (主催講座の開催について)

貞岩分科員 ①地域センターのない黒瀬町の対応は？②集合型オンラインの廃止はニーズが無かったのか？

神笠次長 ①生涯学習センターの活用のほか、地域の集会施設等で出前講座や出張講座を開催する。②3年継続したことによる定着とノウハウの蓄積を踏まえ、市から教育文化振興事業団に事業を継承した。

#### (地域の課題解決に資する講座等の充実について)

中曾分科員 部署間での連携による講座の充実とは具体的に何か？

神笠次長 関係性の高いイベントや講座を連携させ、相乗効果の発揮と重複解消による業務改善を図るもので、全庁的に事業を洗い出し、4事業に絞り込み、関係課と連携し事業効果の具体化に取り組む。

**岩崎分科員** ①4事業の選定理由は？②連携して開催することで、生涯学習の視点で何をを目指すのか？

神笠次長 ①「子ども向け講座」は、小学生という共通点から、広大スペースクラブとエコ探検隊が連携する。「親子向け講座」は、親子クッキング教室を地域センターで開催し、地域における親子の触合いの場を創出する。「多文化共生社会に向けた取組み」は、市民生活課職員が、やさしい日本語のチラシ作りを支援し、地域センター講座への外国人 高齢者 子どもの参加促進を図る。「男女共同参画関連の研修」は、地域センター事務職員を対象に担当課が研修を実施し、時代に即した人権理解を進めるものである。②各種講座に学びの視点が加わり、より市民の学びが深まる効果と、重複する取組みを統合することで事務の効率化が図られる。全庁的な事務見直しを起点とした取組みである。

## 文化課

### (くらは「ふれる」(鑑賞・普及事業)について)

**岩崎分科員** ①若者が喜べる令和8年度の活動は？②10周年事業の目玉は？③さらにビッグネームはないか？

手島次長 ①ポップス系事業で森山直太郎を招く。②『松井秀太郎ナカリャコフ児玉隼人トランペットの祭典』を開催する。③現時点では、公表できないものもあり、随時アナウンスしていきたい。

### (芸術文化活動の支援について)

**原田分科員** ①具体的な中身は？②文化連盟に助成するという理解でよいか？③申請が必要なのか？④令和8年度は対象が決定しているか？文化連盟が周年事業を開催する場合は、別途支援してほしい。

手島次長 ①市民ミュージカルや文化連盟への補助金。②芸能祭など活動への補助である③予算編成前に提出された団体の事業計画に基づき予算を確保している④現時点で既に次年度の内容が決定している。

### (美術館の企画展について)

**貞岩分科員** 令和8年度の美術館の企画展の方向性は？

手島次長 ファミリー層向けに『かがくいひろしの世界展』を2月に開催し、夏には、『舞台美術家・堀尾幸男展』を開催する。読売芸術大賞を舞台作家で初めて受賞された方で、くらの基本構想の委員もされていた。くらの舞台公演とのコラボレーションも企画している。

**岩崎分科員** ①遠方で活躍する地元作家の企画は？②美術館と協議した作家もいると聞かすが、企画展になるか？

手島次長 ①将来的に企画になるよう、学芸員が地元作家の調査を地道に継続している。②断言はできないが、展覧会もしくはワークショップなど、何らかの形で検討がされていると認識している。

### (美術館の作品収集について)

**原田分科員** ①イ(ア)学芸業務の作品収集(購入)とオ美術品購入との違いは？②収蔵庫のスペースに余力は？③空きスペースの縮減による空調の課題はあるのか？

手島次長 ①イ(ア)は学芸員による作品選定など学芸業務を示しており、オは購入の経費を示している。②まだ余力がある。版画は省スペースだが、立体作品の収蔵時に注意したい。③収蔵庫の体積を踏まえた空調設備であり、余裕をもって設計している。

### (史跡西条酒蔵群保存活用計画の策定について)

**岩崎分科員** ①計画の内容は？②蔵元は7軒だが対象が12件(史跡4件と目指す8件)なのは？③策定の効果は？④史跡の活用策は？⑤この計画で都市計画との整合を図るのか？⑥伝建群との関連は？⑦この計画での景観条例の整理は？⑧景観は次のステップか？⑨史跡化と景観保全は並行した取組みか？

手島次長 ①駅前7蔵元にある指定済み4件と史跡化を目指す8件の文化財の保存と活用方策を取りまとめる。②敷地単位で史跡指定するため対象が2件ある蔵元が5軒あるため12件になる③酒蔵の具体的な改修の検討に向けたステップに位置付けられる④外観眺望から内装改修による活用まで幅広い手

法がある⑤史跡指定は敷地にある個々の物件を対象とするものなので、伝建群の面的な指定において都市計画と整合を図ることとなる。⑥史跡指定は点の保存で伝建群は面の保存なので両輪である。⑦景観は、面的な整理になり、当該計画とは切り離して整理する。⑧まずは、景観保存推進協議会において合意を図る。⑨情報を共有しつつ並行して取り組んでいくイメージである。

## 青少年育成課

### (児童館の管理について)

谷分科員 施設数は現状維持なのか増やすのか？前向きな対応を強く期待する。  
坂木課長 児童館というハードについては、町から引継いだ施設の有効活用となるが、各町に子供の居場所が必要であるから、ソフト面での対応について、地域の力も借りながら整えていきたい。

### (放課後児童クラブについて)

谷分科員 ①公設民営の対応状況は？②使用料は同じ値段か？  
坂木課長 ①公設 60 施設のうち 14 施設を委託する予定。②保護者の負担は基本的に公営時と同一である。

### <自由討議>

原田分科員 トップアスリートによるスポーツ振興を本当に進めたいなら、意欲ある地域に助成金を出してほしい。

岩崎分科員 部活動の地域展開とリンクしていくと思われるので、より実効性のある計画にしてほしい。

岩崎分科員 計画と並行して景観の議論も進めているとのことで、しっかりと注視すべき。伝建群の面対応は、最終的に都市計画との整合を図る必要があり、一朝一夕には進まないと思う。

貞岩分科員 過去にも運動公園で生涯フェスと健福まつりを一緒に開催していたが、間延びすることなく充実したイベントだった。1日にするとやはり規模縮小に感じる。どうなるのか来年の内容を期待する。

大下副主査 大屋根広場整備の影響もあり会場からの駐車場も減る。その対応や解決も検討が必要である。

谷分科員 児童館機能のソフト対応の推進に期待したい。放課後児童クラブの負担が増えないので安堵した。